



NSD3000AHDシリーズ

取扱説明書

4/8/16チャンネル共通

Full HD Ver. 2.0 NSS



- この度は、デジタル・ビデオ・レコーダーをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前にこの取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニター・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

安全上のご注意



注意:

本機の分解・改造をしないで下さい。感電や火災の原因となり、大変危険です。
修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。



左側のシンボルは感電の危険のある十分な電圧の存在を示します。



左側のシンボルはこの機器を使うに重要な操作や管理維持方法を示します。

注意:

この機器をぬらさないで下さい。雨や水にぬれると、発火及び感電の原因になります。

目次

免責事項	5
警告.....	5
注意.....	6
故障を防ぐために	7
規制.....	7
梱包品の確認	8
I. 各部の名称と働き	9
1. 前面パネル	9
2. 背面パネル	10
3. リモコン.....	11
4. マウス	12
5. 制御用仮想キーパッド	12
II. 設置及び連結.....	13
1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー、電源コード.....	13
2. ネットワーク接続用PCのシステム条件	14
III. クイック・スタート・ページ.....	15
IV. ライブ監視	17
1. 表示概要.....	17
2. 分割画面表示および画面自動切り替え	19
2.1. 全画面表示	19
2.2. 分割画面表示及び画面自動切替表示	19
3. 分割画面用クイックボタン	20
3.1. 画面移動	20
4. ズーム機能	21

V. 操作	22
1. ログイン/アウト	22
2. メイン・メニューの概要	23
VI. 設定	24
1. 画面	24
1.1. 設定	24
1.2. 画面自動切替設定	25
1.3. イベント	26
2. カメラ	27
2.1. ビデオ調整	27
2.2. モーション検出	28
2.3. プライバシー保護	29
2.4. PTZ 設定	29
2.5. カメラタイトル	30
3. 録画	31
3.1. 設定	31
3.2. 解像度 & 録画速度	32
3.3. 常時録画	33
3.4. イベント録画	34
3.5. モーション録画	35
3.6. マルチ・イベント録画	35
3.7. 常時録画 + イベント(モーション/アラーム) 録画	36
4. 予約録画	37
4.1. 予約録画設定	37
4.2. 休日設定	38
5. ディスク	39
5.1. ディスク管理	39
5.2. 録画用ディスク	40
5.3. S. M. A. R. T情報	41
6. ネットワーク	42
6.1. IP設定	42
6.2. 一般	43
6.3. Eメール	44
6.4. SMTP	45
6.5. DDNS (ダイナミック DNS)	46

6.6 ルーター & ポートフォワーディング	47
7. デバイス	49
7.1. 一般	49
7.2. 画面	50
7.3. アラーム	51
7.4. PTZ イベント	53
8. システム	54
8.1. 一般	54
8.2. 日時設定	55
8.3. ユーザーアカウント	56
8.4. アップデート	57
8.5. 詳細設定	58
8.6. 情報	59
VII. パン/チルト/ズーム制御	60
1. P.T.Z. メニュー	60
2. プリセット & ツアー	61
2.1. ツアーグループ	62
3. カスタム機能	62
4. 自動パン / 自動チルト / 電源	63
5 . PTZ カメラ・モデル - パン/チルト/ズーム カメラ・リスト	63
VIII. 再生/検索	64
1. 再生	64
2. 時間検索	64
2.1 複数チャンネル再生	64
2.2 プレビュー検索(1チャンネル再生)	65
2.3 イベント録画検索	66
2.4 イベントソース検索	66
2.5 モーション・エリア検索(1チャンネル再生)	67
3. 簡単検索	68
4. ログリスト検索	68
IX. バックアップ	69
1. 手動バックアップ	69
1.1 外付け DVD- R/W	69
1.2 外部USB HDD / メモリスティック	71

1.3 バックアップ範囲の設定.....	71
2. 自動バックアップ(FTP)	72
3. ログリストのバックアップ	73
X.仕様	74

免責事項

- この取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタル・ビデオ・レコーダー、ソフトウェア、ハード・ディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや 故障による障害またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。

警告

- 本機の通気孔またはスロットを塞がないでください。 器具の過熱防止のため、通気孔とスロットの周囲は最低 5センチ以上空けてください。
- スロット内に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし、入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。その後、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙や異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙等が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。

- 本機に重い物を落とすなどしてケースが変形・破損した場合は直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機に水などの液体を入れないでください。DVRは防水ではありません。本機に液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。本機に水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機のお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートの恐れがあるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は付属のACアダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・加熱・装置の変形等の恐れがあります。
- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますのでバッテリーを熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、バッテリーの加熱や分解をしようとししないでください。バッテリーの液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- バッテリーに強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物でバッテリー端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属のACアダプターと電源コードはこのレコーダー専用設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品やバッテリーに使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。温度0～40℃、湿度90%以下でご使用ください。この装置の専用アダプターが正常動作するための電源は AC 100V～240V 50/60Hzです。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターまたは他の強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- デジタル・ビデオ・レコーダー内部に結露が生じたことを発見した場合は直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源コードを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。

規制

FCC規定遵守：この装置はFCC規定のPart15のクラスAデジタル・デバイスの基準でテストされました。それらの基準はこの装置がコマーシャル環境で使われるとき生じる有害な障害からの保護を設けるために決められました。この装置は電波エネルギーを発生、使用するので取扱説明書に従って設置、使用されない場合は、電波通信の干渉、障害のおそれがあります。この装置の住宅街での使用はユーザー自費で直すことが要求される有害な傷害を致しやすいです。



ノート：この装置の独断の改造によるラジオ、テレビなどとの障害問題について、当社は責任を負いません。無断で改造した場合、この装置を操作するユーザーの権限が無効になる恐れがあります。

注意

- この装置に合わないバッテリーの使用は爆発の危険がありますのでご注意ください。使用済みのバッテリーは規定に従い処理してください。
- コンセントはなるべくこの装置の近くに設置し、接近しやすくしてください。

梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認して下さい。部品が足りない場合や破損している場合は直ぐにお買い求めの販売店にご連絡下さい。尚、梱包材は本機を再び輸送する時（引越しや修理）に必要となりますので、大切に保管して下さい。

品名	数量	備考
デジタル・ビデオ・レコーダー	1	
クライアントソフトウェアCD	1	
リモコン	1	
バッテリー (コイン型)	1	
ACアダプター	1	
電源コード	1	
取扱説明書	1	
マウス	1	

I. 各部の名称と働き

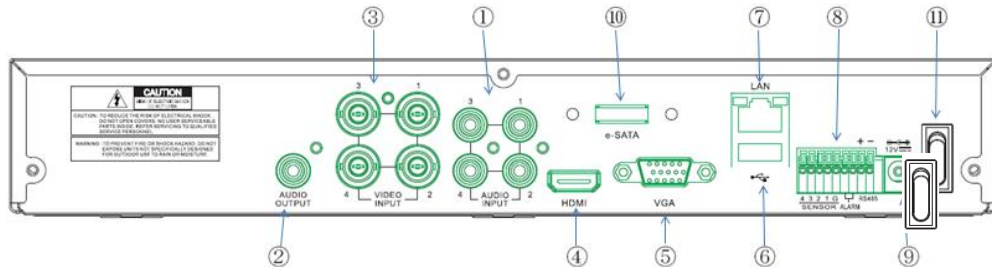
1. 前面パネル



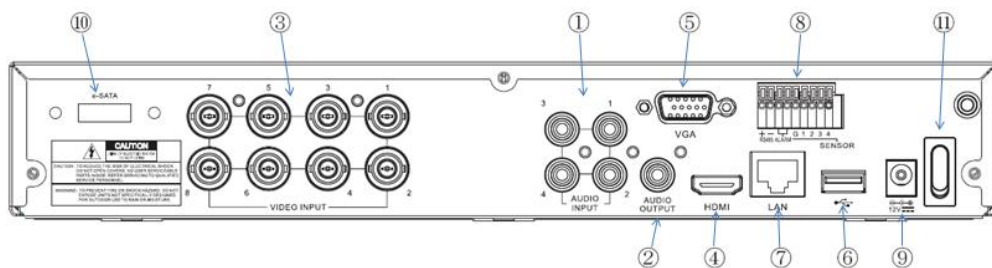
- 1) **USB ポート** : USBマウスやバックアップ用USBメモリーを接続します。
- 2) **リモコン受信部** :
リモコンから受信部が見える必要があるので、受信部を塞がないでください。
- 3) **POWER** : 電源が入っている時には電源LEDが点灯します。
- 4) **HDD** : 録画中にはHDD LEDが点滅します。
- 5) **NET** : ネットワークユーザーへ接続された時に点滅します。

2. 背面パネル

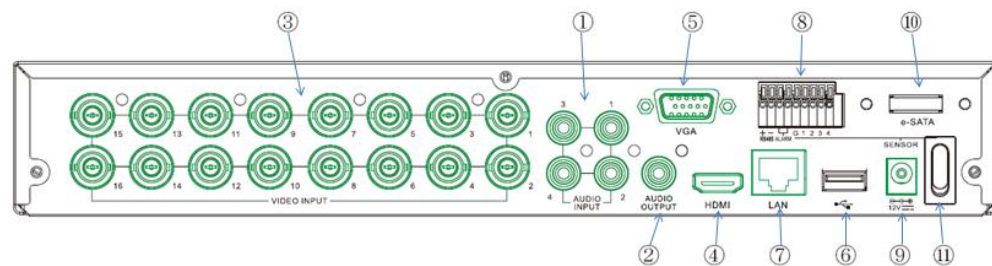
<4ch>



<8ch>



<16ch>

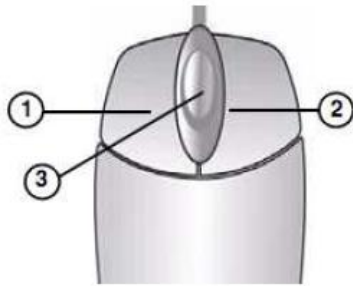


- 1) AUDIO IN : RCA 入力 (1~4 ch)
- 2) AUDIO OUT : RCA 出力 1 ch
- 3) VIDEO IN : BNC 入力 (カメラ 1~4、1~8、1~16)
- 4) HDMI : HDMI モニター出力
- 5) VGA : VGA モニター出力
- 6) USB : USB メモリー、マウス接続
- 7) LAN : RJ-45 イーサネットポート
- 8) SENSOR IN : アラーム入力 (S1~S4) / リレー : アラームリレー出力 (R1, R2)
RS-422 : PTZ カメラ制御 (+, -)
- 9) POWER : DC アダプター接続
- 10) e-SATA : e-SATA 装置連結端子
- 11) 電源スイッチ : シャットダウン処理が終わった後にスイッチを操作して下さい。

3. リモコン



4. マウス



DVRの操作及び制御のためにマウス入力を支援します。マウスは製品の前・背面USB 端子を通じて連結出来ます。

1) 左クリック - 分割画面でダブルクリックすると、1画面表示に切り替わります。また、1画面でダブルクリックすると分割画面に戻ります。

また、シングルクリックでメニューを選択したり、変更する時に左クリックを使用します。

2) 右クリック - シングルクリックでメニュー画面が表示されます。

3) マウスホイール：選択されたメニュー値の増加/減少の選択が出来ます。.

5. 制御用仮想キーパッド

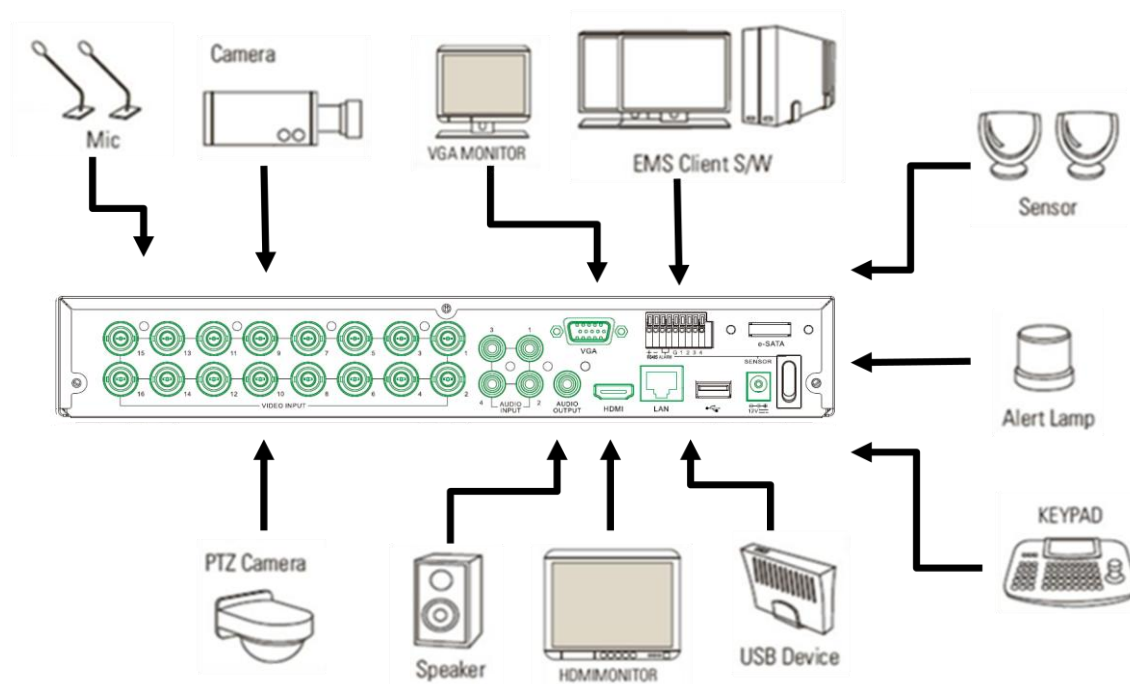
このDVRはマウスで制御可能なオン・スクリーン仮想キーパッドを提供します。ご使用になる前面USBポートにマウスをつなげてください。ライブや再生モードでマウスの右ボタンをクリックすると下のように仮想コントローラーが表示されます。下の仮想キーパッドは実行されているタスクによってそれぞれ違う位置、ボタンで表示されます。



＜ 仮想キーパッド画面 ＞

II. 設置及び連結

1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー、電源コード



2. ネットワーク接続用PCのシステム条件

	最低	推奨
OS	Windows Vista 以上	Windows 7以上
CPU	Core2 Duo	i5
RAM	2G	4G
VGA	PCI-E 256M	PCI-E 512M
DirectX	DX9.0 サポート	DX9.0 サポート
ネットワーク	100M イーサネット LAN	100M イーサネット LAN
HDD	100G 以上	500G 以上

<おことわり>

DVRの接続と遠隔監視はPCのインターネット接続設定にも依存します。 本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III. クイック・スタート・ページ



管理者の初期設定されているパスワードは「000000」です。

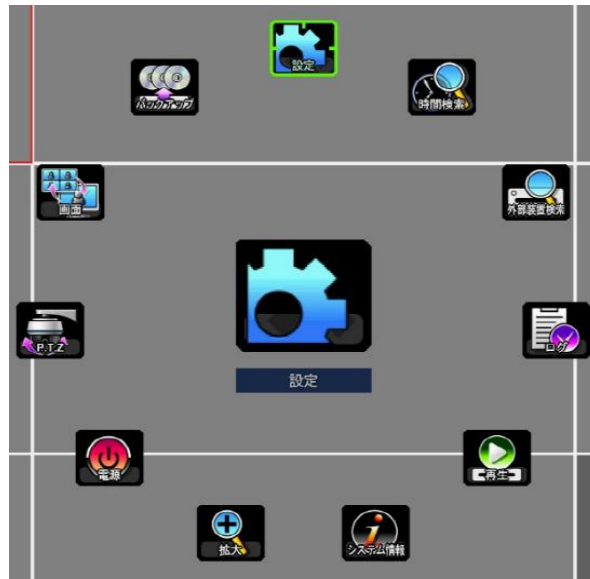


EMSソフトに初期設定されたユーザーIDは「**admin**」、パスワードは「**0**」です。

初期メニュー

最初メニューボタンを押すと初期メニュー画面が表示されます。

各アイコンを選択し詳細設定メニュー、時間検索、外部装置検索、ログ、再生、情報、ズーム、電源、PTZカメラ制御、分割画面、バックアップメニューへ入ります。



日付と時刻の設定

初めてDVRの電源を入れたとき、日時の初期設定は 2009年1月1日、木曜日、01:00:00 にセットされます。 DVRをご使用になる前に日時を設定することが重要です。



IV. ライブ監視

1. 表示概要



映像信号形式

本製品は、1080P（AHD 2.0）と720P（AHD 1.0）及びSDの3種類のビデオフォーマットのカメラに対応しており、入力された信号を自動的に識別して表示します。

接続されたカメラのビデオフォーマットと解像度は、それぞれのチャンネルの映像の右上にアイコンで表示されます。

アイコン	説明
	1080P の AHD フォーマットの映像信号が入力されていることを示します。(AHD 2.0)
	720P の AHD フォーマットの映像信号が入力されていることを示します。(AHD 1.0)
	SD フォーマット（NTSC または PAL）の映像信号が入力されていることを示します。

1.1. 録画モード



録画状態によってチャンネル番号の背景色は異なります。

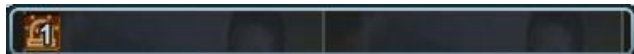
- 1) 赤 - イベント(モーション/アラーム) 録画中
- 2) 黄 - ノーマル録画
- 3) 黒 - 録画していない

1.2. イベント・インジケータ

(1) (2) (3)



- (1) アラーム・センサーによって、アラーム入力端子がトリガされたことを示します。



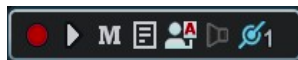
アラーム・ウィンドウを見せるにはリモコンの[上]ボタンを押します。

このボタンでアラーム・ウィンドウを見せたり隠したりできます。

- (2) モーション感知を示します。[CANCEL] ボタンを押すと消えます。
- (3) 録画中のビデオロスを示します。[CANCEL]ボタンを押すと消えます。

1.3. ステータス・バー

(1) (2) (3) (4) (5)(6)(7)



- (1) 録画状態を示します。録画中には赤色に切り替わります。
アイコンをクリックし録画開始、停止します。
- (2) 再生状態を示します。再生中には緑色に切り替わります。
アイコンをクリックし再生、停止します。
- (3) アイコンをクリックしメニュー、ログ画面を消します。
- (4) ログリストを表示させます。
- (5) ログイン状態を示します。() A : 管理者、U : ユーザー
- (6) 音声録音中には青色に切り替わります。
- (7) ネットワーク経由のアクセス数を表示します。 .

2014/10/31 金 12:14:41 : 日付、時刻を表示します。 .



- (8) USBデバイスが検知されるとアイコンが白色に切り替わります。
- (9) HDD容量を表示します。空き容量が5GB未満の場合、リサイクルアイコンが

表示されます。

(10) 録画可能期間を表示します。設定が変わると可能時間も変化します。

2. 分割画面表示および画面自動切り替え

2.1. 全画面表示

1 画面をアップで全画面表示したい場合は、希望するカメラ番号に対応する数字ボタンを押します。

2.2. 分割画面表示及び画面自動切替表示



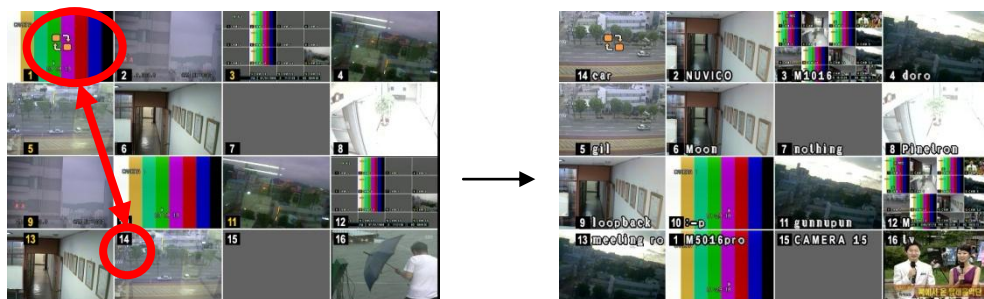
- 1) **[画面分割]**ボタンを押すと分割画面表示になります。画面分割設定で選んだ順序によって切り替わります。
- 2) 1 画面自動切替を開始するには**[画面分割]**ボタンを 2 秒間押します。
- 3) 自動切替モードおよび画面切替時間は、プログラム可能です。これらの設定は“画面自動切替設定”で行います。

3. 分割画面用クイックボタン

3.1. 画面移動

6,7,8,9,10,13,16画面分割モードでカメラの画面を移動することができます。

- ① リモコンの「スポット」ボタンを押して  を選択します。  マークが表示されます。
- ② 移動したいチャンネルの数字を押します。

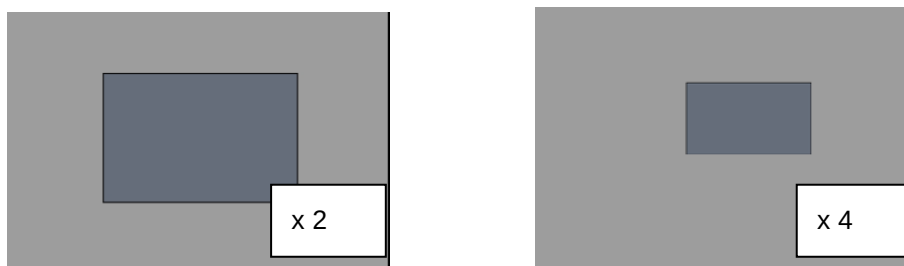


- ③ 変更を保存して抜けるには[保存]ボタンを押します。
変更を保存せずに抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。
再度、チャンネルを配列するには[画面分割]ボタンを押します。

4. ズーム機能

ライブ監視の時、画面の见たい部分を拡大して见ることができます。

1. デジタル・ズームを働かせるには、拡大したいカメラの映像を1画面表示にします。
2. リモコンの[ズーム]ボタンを押します。下のようなズーム・エリア・ボックスが表示されます。



3. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使い、ボックスを希望する位置に移動します。
4. [決定]ボタンを押すとズーム・イン、ズーム・アウトします。
5. [CANCEL]ボタンを押すと通常モードに戻ります。

<注意>

- 分割画面の状態でズームボタンを押した場合には、ズーム機能は働きません。

V. 操作

1. ログイン/アウト

DVRを操作するには有効なパスワードが必要です。ログイン・アカウントとパスワードの初期設定は管理者と“000000”です。

<注意> DVRを設置する際には、お客様独自のパスワードに変更することをお勧めします。

参照→[システム設定]

1. ログイン

- 1) フロントパネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
- 2) DVRの電源が入るとDVR状態をスキャンします。
- 3) 50秒程度の起動の後、ライブ監視スクリーンが表示されます。ただ不良のHDDが検知されると長引く可能性があります。DVRは自動的に直すよう作動しますが、警告メッセージが表示されます。
- 4) フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。マウスを使いクリックすると、ログイン・ダイアログ・ボックスが現れます。
- 5) ログイン  アイコンがステータス・バーに表示されます。



2. ログアウト

フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。またマウスを使い画面上でアイコンをクリックすると、ログアウトされます。

2. メイン・メニューの概要

1. 管理者やユーザーアカウントでDVRにログインします。
* ユーザーの初期権限では[ディスク]と[システムメニュー]に接近できません。
2. リモコンの[MENU]ボタンを押します。画面上でマウスを右クリックしてもMENUが表示されます。
3. 方向[▲▼◀▶]ボタン、マウスを使い希望するメニューを選択します。



4. メニューに入り、下位メニューを見るには[ENTER]ボタンを押します。
または、マウスでクリックします。
5. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューを選択します。



6. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
7. [-、+]ボタンまたはマウスで値やオプションを変えます。



8. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

VI. 設定

1. 画面

1.1. 設定



1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
2. [-、+] ボタンまたはマウスで値やオプションを切り替えます。

項目	調整
ステータス・バー	• メインモニター下部のステータス・バーの表示・非表示を切り替えます。 
カメラ情報	• OSDを選択すると、カメラ番号やタイトルが表示されます。
画面分割線	• カメラ映像間の分割線を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]
背景色	• 映像信号がない状態の背景色を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]
OSD 表示位置	• メイン・ビデオはVGAとアナログ・モニターで出力されます。また、ビデオは両方同時に表示できます。モニターのオン・スクリーン・ディスプレイ調整を選択します。 - アンダースキャン: ツールバー等を画面の外枠に寄せて表示します。 - オーバースキャン: ツールバー等を画面の外枠より少し内側に表示します。
画面分割設定	• 画面分割モードの設定により順序が変わります。

3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

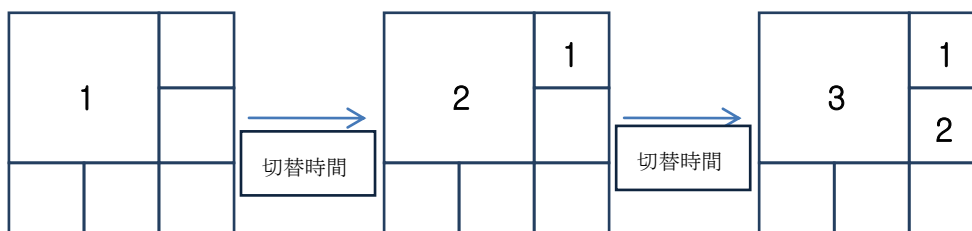
1.2. 画面自動切替設定



1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

2. 一般

- 1) デバイス：各モニタは違う順序で配列できます。
- 2) 画面切替時間：[ENTER]を使い、画面分割モードまたは各カメラの切替時間を選択します。**[1秒 ~ 30秒]**
- 3) モード：スイッチモードで表示する画面配列を選択します。
 - a. 順次：自動切替
 - b. シフト：切替時間の後、選択されたカメラが表示されます。



- c. イベント：イベント・モード設定の後、イベントが検出された特定のカメラが1画面表示またはマルチ画面表示で表示されます。



- 4) 画面分割設定: 希望する自動切替モードを選択します。
 - 5) 使用チャンネル: 自動切替のときに使うカメラを選択します。
3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

1.3. イベント

モード項目の<イベント>を選択します。メニューが表示された後、アラーム、モーション、ビデオロス(映像信号なし)などを選択します。



イベント編集

設定されたアラーム、モーション、ビデオロスなどが発生すると、該当画面が表示されます。



2. カメラ

カメラのモーション検出、プライバシーゾーン指定、PTZ使用及び、ビデオ調整(輝度、コントラスト、カラー)などを設定をします。



1. 方向[]ボタンまたは数字ボタンで希望するカメラを選択します。
2. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。

2.1. ビデオ調整

カメラのビデオ調整を行います。

項目	初期設定	調整
輝度	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
コントラスト	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
カラー	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。
彩度	50%	• [-,+]ボタンを使い調整します。

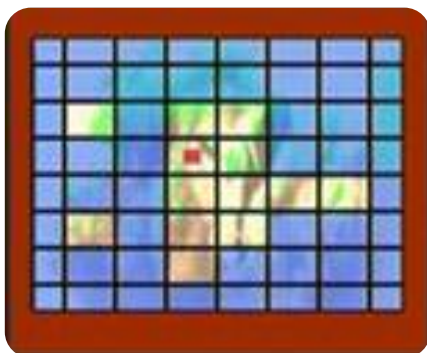
2.2. モーション検出



1. **感度設定**：モーション検知するときの感度を設定します。1(低感度)～20(高感度)まで設定できます。初期設定は10レベルになっています。

2. **エリア設定**：モーションを検出する画面上の範囲を設定します。現在のビデオ映像に重ねて表示します。初期設定ではエリアが選択されていません。

- ：全て選択
- ：全て削除
- ：特定範囲を選択



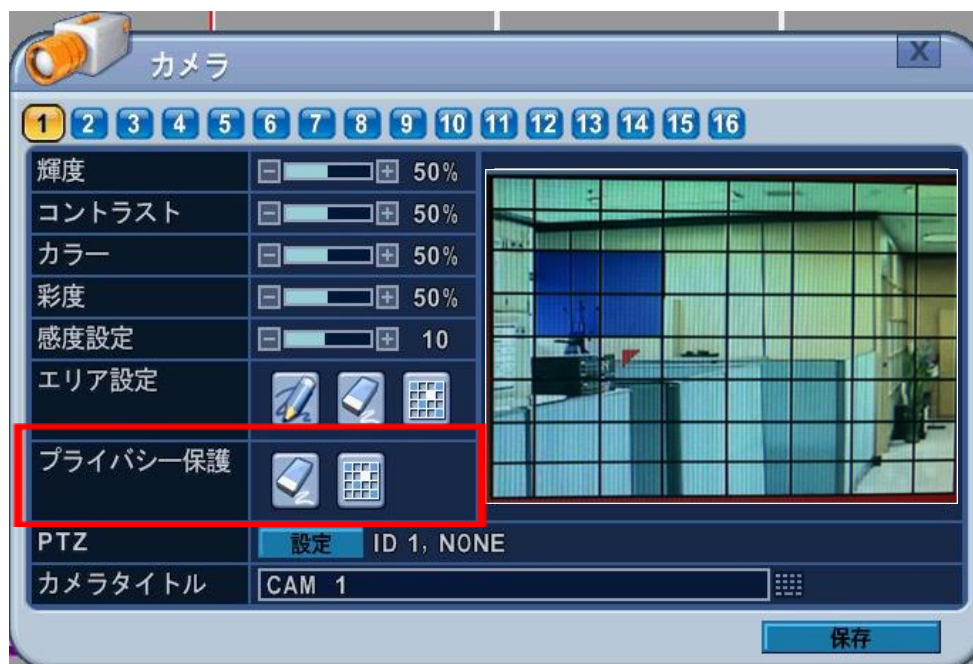
特定範囲を選択するのは次のように行ってください。：

フロントパネルまたはリモコンの方向ボタンで範囲を決めて[+]ボタンを押します。選択されたエリアは青色に変わります。

2.3. プライバシー保護

画面に表示させたくないエリアが設定できます。

選択されたエリアはライブ画面や録画、再生で表示されません。



-  : 全て削除
-  : 特定範囲を選択

2.4. PTZ 設定

PTZデバイスはDVRの背面のRS-422ポートに接続されます。複数のPTZカメラの場合、デージーチェーン方法で接続します。このDVRでは多数のPTZカメラを別々操作することができます。

[設定]ボタンを押し、PTZ設定メニューへ入ります。メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。



a. 通信設定

: カメラモデルを設定し、対応するボーレートとコントロールID (アドレス)を入力します。

b. ツアーグループ: 事前にプログラムされたPTZプリセットの自動切替に従い、カメラを移動させます。詳しくは<パン/チルト/ズーム制御>をご参照ください。

2.5. カメラタイトル

各カメラの名称を割り当てます。

a. カメラ名称のガイドライン

- 文字: AからZ、0から9、 特殊文字はネットワークで利用できます。
- 長さ: 空欄を含め12半角

b. 仮想キーパッドまたはリモコン、フロントパネルの数字ボタンを使い、カメラタイトルを入力します。



<仮想キーパッド>

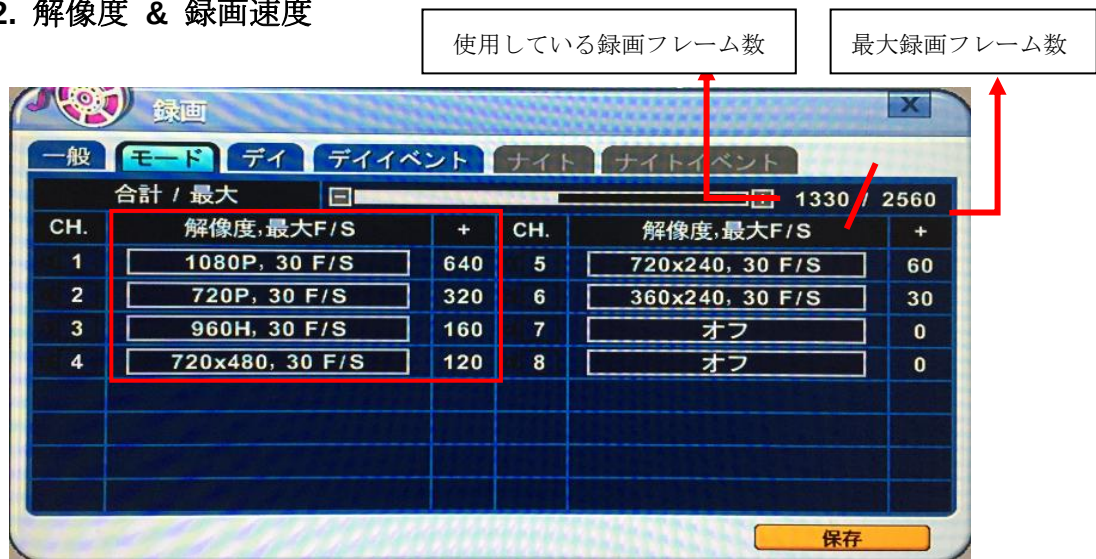
3. 録画

3.1. 設定

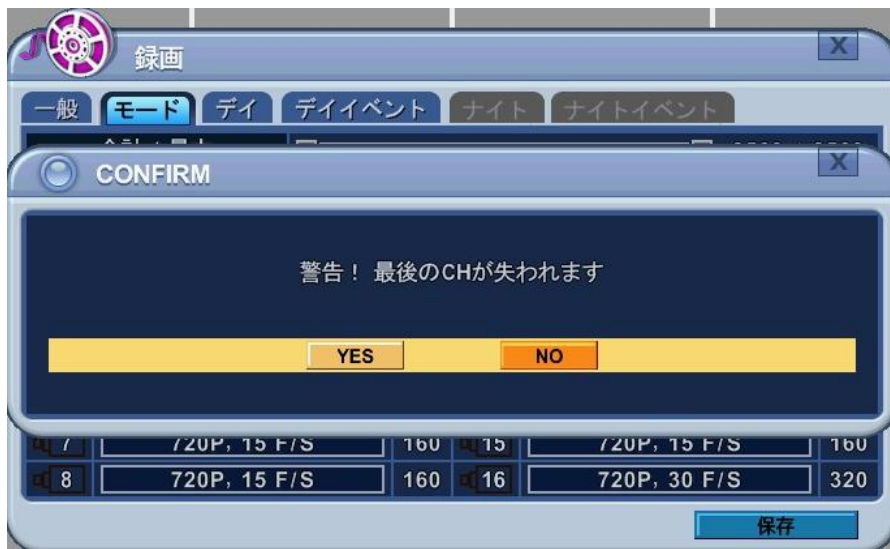


1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。
 2. [-/+]ボタンやマウスで設定します。
 - 1) **予約録画使用**: ナイトゾーンを有効・無効を設定します。初期設定はオフになっています。
 - 2) **起動時録画**: 起動時、録画ボタンを押さなくても録画します。
 - 3) **上書き録画**: HDDの録画方法を決めます。
 - オン: 上書き録画します。(初期設定)
 - オフ: HDDの残量が無いと録画を停止します。
 - 4) **自動削除期間**: HDDのデータの自動削除を設定します。選択した期間が経つと削除します。
[無し → 12時間 → 1日～6日 → 1週間～4週間 → 30日]
 - 5) **事前録画**: イベント録画の開始前の録画時間を選択します。
[1秒～5秒] 初期設定は5秒になっています。
 - 6) **事後録画**: イベント録画の終了後の録画時間を選択します。
[5秒～300秒] 初期設定は10秒になっています。
- <ノート> イベント録画中、また。違うアラーム/モーションが検出されると録画時間が延長されます。
3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

3.2. 解像度 & 録画速度



- チャンネル毎、解像度と録画速度が設定できます。
- “画面分割” ボタンを押すと、設定はチャンネル全体に適用されます。
- 設定が行われている間、使用している録画フレームは自動的に計算、表示されます。合計が最大録画フレーム数を超えると、警告メッセージがポップアップされます。また、最後のチャンネルの設定は消えます。



3.3. 常時録画

DVRは工場出荷時に初期設定されています。そのためDVRを設置して録画ボタンを押すだけですぐに録画ができます。初期設定では、音声、アラーム、モーション録画はオフとなっています。



DVRは継続してビデオデータを録画します。録画設定は常時録画に適用されます。各カメラでそれぞれ設定ができます。他のチャンネルに同じ設定を適用するには **[画面分割]** ボタンを押してください。

項目	調整
解像度	モードタブでディスプレイされる解像度を選択します。
音声	音声録音可否を選択します。(オン/オフ)
F/S	各カメラの録画速度を選択します。(コマ数)
画質	各カメラの録画画質を指定します。 超高画質 → 高画質 → 中画質 → 低画質

3.4. イベント録画

カメラ毎に違うイベント録画設定ができます。イベント項目で録画速度と画質を選択します。



[デイイベント]タブでイベント録画に使用するアラーム、モーション、ビデオロスを選択します。

1) アラーム録画

1個のアラームは1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のアラーム入力ができます。



- [ENTER]ボタンまたは、マウス・ホイールで値やオプションを選択します。
- [※]表示は多数のアラーム入力を示します。
- アラーム入力/出力に関しては[デバイス/アラーム]を参照してください。

3.5. モーション録画

一つのモーション検出は1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のモーション検出することができます。



- [ENTER]ボタンまたはマウス・ホイールで値やオプションを選択します。
- [※]表示は多数のモーション検出を示します。
- モーション設定は[カメラ]メニューを参照してください。

<Note> ビデオ入力信号や周辺環境のため、DVRのモーション検出が正常作動しない場合があります。

3.6. マルチ・イベント録画

- ビデオロス(映像信号なし)：一つのビデオロスは1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のビデオロス機能ができます。



b. イベント編集



[決定]ボタンを押し、マルチ・イベントを編集します。メニューの左側にはオプションが右側には詳細設定項目が表示されます。リモコンまたは、フロントパネルの方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

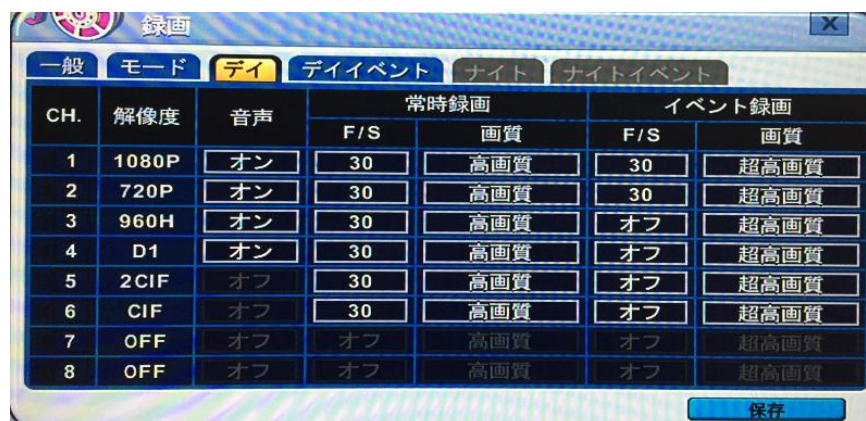


リモコンの[- / +]ボタンまたは、マウスでオプションを選択します。
イベント編集ではシステムメニューを使用できません。

3.7. 常時録画 + イベント(モーション/アラーム) 録画

常時録画とイベント録画は同時に設定できます。常時録画中にイベントが発生すると、イベント録画に切り替わり、メニューで設定した画質と速度で録画されます。

<例>

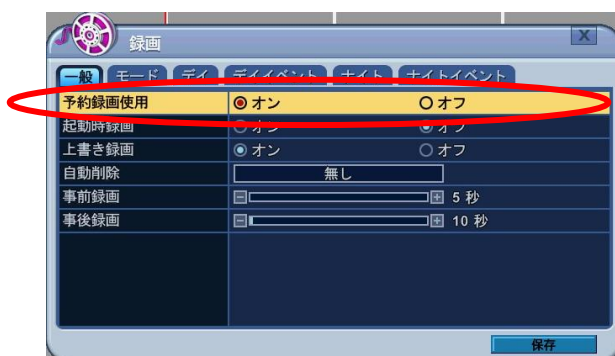


録画ボタンを押すことによって、「30FPS」の「高画質」で常時録画が開始されます。イベントが発生すると、1CHと2CHが「30FPS」の「超高画質」に変わります。イベントの後、事後録画期間が終了すると常時録画に戻ります。

<ノート> [デイイベント]タブで、モーション、アラーム、ビデオロスなどのイベントを選択します。

4. 予約録画

予約録画をオンにすると、特定の日付設定だけではなくユーザー独自の昼や夜を設定できます。予約録画では時間、カメラ、録画速度やイベントなどを設定できます。予約録画をオンにしてナイトモードを活性化します。



4.1. 予約録画設定

スケジュールチャートは定義された録画モードをグラフで表示します。ナイトモードが初期設定になっています。 予約録画が設定された場合に限りスケジュールが表示されます。



- * デイ(黄): 昼設定を行います。
- * ナイト(緑): 夜設定を行います。
- * 録画休止(青): 画面表示されますが、録画しません。

- 1) 方向[▲▼◀▶]ボタンを使って移動します。
- 2) 各項目へ移動し、[決定]ボタンまたはマウスで選択します。
- 3) 下のようにより詳細メニューが表示されます。



- a. [- / +]ボタンまたはマウスで値を切り替えます。
 - モード：[ナイト] → [デイ] → [非録画]
 - 開始：録画開始時刻
 - 終了：録画終了時刻 録画終了時刻は開始時刻の先または、同じ時刻では動作しません。必ず開始時刻の後に設定してください。
- b. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。
- 4) 予約設定のコピー
 - a. 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。(日～土)
 - b. 希望する設定で[画面分割]ボタンを押します。

4.2. 休日設定

設定した予約録画と別度日付を決め設定することができます。平日のスケジュールと重なる場合、休日設定が優先します。



- 1) 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
- 2) [- / +]ボタンまたはマウスで項目を選択します。
- 3) [- / +]ボタンまたはマウスで値を切り替えます。
 - モード：[オフ] → [デイ] → [ナイト] → [非録画] → [日～土] → [カスタム]
 - 月/日：休日開始の日付
 - 日数：休日持続期間[1日から 15日間]

5. ディスク

5.1. ディスク管理

ディスク・マネージャーではハード・ディスクのフォーマットとバックアップやミラーリングなどのハード・ディスクの設定することができます。



1. 選択

- 1) デバイス: デバイスの接続されているポートを示します。
- 2) 上下[▲▼]ボタンで移動した後、[ENTER]ボタンまたは、マウスで選択します。
- 3) 容量: デバイスのおおよその総容量を示します。
- 4) 状態:
 - a. CD/DVD : バックアップ用で設置された CD/DVD
 - b. NONE : 新しく設置されたディスク
 - c. EMPTY : フォーマットされ、現在使用されていないディスク
 - d. STREAM DATA : 録画データがありますが、現在使用されていません。
 - e. BACKUP DATA : HDDにバックアップデータが保存されています。
 - f. OTHER DATA : AVIファイルを含め、録画データやバックアップデータではないことを示します。

g. Damaged

<ノート>: 非接続されたディスクはディスク・メニューから消えます。

2. 動作 :

- 1) なし: 設定を変更しません
- 2) 録画ディスクに指定 : 選択されたHDDを初期化します。 ドライブをフォーマットし、全てのデータを削除します。 HDD容量を増やすためには外部 SATA HDDを接続します。フォーマットが終わったHDDは[録画ディスク]で表示されます。

3) バックアップ用フォーマット

メディアまたは外部HDDにバックアップするためにフォーマットします。

4) 録画ディスクリンク

：使われていたHDDのデータを削除せずにリンクします。

<ノート>

- A. 録画中のHDDがあるとリンクされません。
- B. 同じモデルで使用していたHDDのみリンクできます。
- C. 同じ時間帯のデータがあるとリンクされません。

3. [+]または[ENTER]ボタンを押すと、選択したアクションが実行されます。

4. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

5.2. 録画用ディスク

現在使用されている各ドライブの情報を示します。



ディスク				
ディスク管理 録画用ディスク S.M.A.R.T情報				
NO.	容量, 範囲	デバイス	状態	動作
1	1G / 999G 13/05/29 ~ 13/05/30	INT-B	安定	除去
2				
3				
4				

1. 容量、範囲

：HDDの使用量/総容量を示します。また保存されているデータの範囲と録画有無を示します。

2. デバイス

HDDの接続されているポートを示します。

3. 状態

- 1) 安定：HDDが安定しています。
- 2) 回復：スレーブディスクにコピーしています。
- 3) 再回復：保留中の全てのバッファディスクを新しい設置ディスクに記録します。

- 4) 復旧：保留中の全てのバッファディスクをスレーブディスクに記録します。
- 5) 損傷：不安定しています。

4. 動作: HDDを除去する場合、選択します。

5.3. S. M. A. R. T情報

不良セクター、温度、HDD 動作時間などの情報が分かります。

HDD製造社によりスマート情報と少し異なります。



The screenshot shows a window titled 'ディスク' (Disk) with a sub-tab 'S.M.A.R.T.情報' (S.M.A.R.T. Information). The window contains a table with the following data:

NO.	ID	不良セクタ	温度	時刻	状態
1	INT-B	1	43 °C	494 日	正常
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

6. ネットワーク

インターネット接続契約で固定IP契約をしている場合には、契約期間中は一定のIPアドレスを利用可能です。動的IPアドレスでのご契約の場合には、モデムを接続する度、または、ある一定の時間毎にIPアドレスが切り替わります。多くのインターネット・サービス・プロバイダが、両方のサービスを提供していて、このマニュアルでは両方でのDVRの使い方を説明します。

6.1. IP設定



1. 固定IP

固定IPが選択されると次の設定ができます。

- 1) **IP アドレス**：固定IPアドレスを入力します。
- 2) **ネットマスク**：サブネット・マスクのIPアドレスを入力します。
- 3) **ゲートウェイ**：インターネット・ゲートウェイ・サーバーのIPアドレスを入力します。
- 4) **第1 DNSサーバ**：DNS名を確認します。
- 5) **第2 DNSサーバ**：バックアップDNSサーバのIPアドレスを入力します。

第1 DNSサーバーに問題があるとき、このサーバーが使われます。

〈注意〉 DNSサーバーを正確に設定しないと、メール伝送に障害が生じます。

2. IP自動割当: DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

ローカルDHCPサーバー(例:ローカル・ルーター)があると自動設定されます。DHCPがONになると、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネット・マスクがDHCPサーバーにより割り当てられます。(例:ローカル・エリア・ネットワーク・ルーター)

6.2. 一般



1. **アクセス・ポート:** 0001～9999を選択します。
インターネット上でDVRと通信するポート番号を入力します。
初期設定は7000です。1,000以上のポート番号をお勧めします。
2. **使用帯域幅:** クライアント接続に割り当てられたネットワーク・リソースを制限するネットワーク使用帯域幅を選択します。初期設定は[無制限]です。
“4 KBPS ～ 8 MBPS”から選択します。
3. **アクセス・ブロック:** - PING: オンにすると要求に応答しません。
- スキャン: EMSからのデバイス検索に応答しません。
4. **接続可否リスト:** ネットワークに接続する機器を許容するかチェックします。
5. **EASY P2P:** この機能は、ルータのポート転送を設定しなくてもEMSからルータ越しにLAN内のDVRに接続するための機能です。
6. **双方向オーディオ:** EMSからの音声をDVRのAUDIO OUTに出力させることができます。
7. **ストリームモード:** ライブ映像のネットワーク転送方法を設定します。
 - 1) デュアル: 録画設定に依存せず、ストリーム特性項目から選択し転送します。
 <ノート> ネットワークに対する最大デュアルストリーム

NTSC	各チャンネル毎の有効フレーム
	CIF, 7 フレーム

PAL	各チャンネル毎の有効フレーム
	CIF, 6 フレーム

- 2) 最適化: 録画フレームを30に(最大録画フレーム)設定すると30フレームで転送しますが、他の場合は全て15フレームで転送します。

8. **ストリーム特性:** 通信専用設定を選択するとメニューが活性化されます。

6.3. Eメール

このDVRは、イベント発生のお知らせを送信する設定ができます。アラームまたはモーションのようなイベントが発生すると電子メールで知らせます。



基本提供されるDVR Eメールサーバーまたは個人Eメール設定が利用できます。

1. **使用:** オンまたはオフを選択します。[← +]、[ENTER]ボタンで選択します。
 - 1) デフォルト: 初期設定が提供されます。Eメール通知オプションとEメールアドレス設定メニューが活性化されます。
 - 2) SMTP: ユーザーのEメール設定を実行するSMTP構成タブが活性化されます
2. **送信周期:** 選択した時間の後、Eメールが伝送されます。
 - 1) イベント : [即時、10分、1時間、1日]
 - 2) ログ : [1日、1週間]
3. **再試行回数:** メール送信に失敗した場合の再試行回数を指定します。
4. **メール送信ソース:** 通知オプションでイベントを設定します。
 - 1) イベント編集: 各チャンネルでアラーム、モーション、ビデオロスの通知をEメールで行います。



- 2) ログ: ログをメールで送信するかどうかを設定します
5. **画像添付:** メールに写真を添付することができます
6. **Eメールアドレス:** 最大5箇所までの指定されたメールアドレスにメール送信できます。

6.4. SMTP

このメニューはEメールで <SMTP> を選択すると活性化されます。

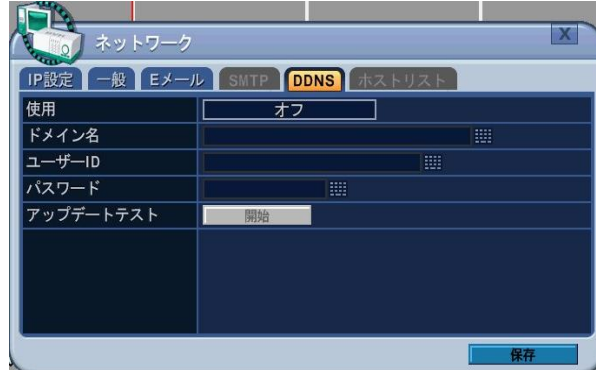
次の設定はDVRメールサーバーをお使いにならない場合のみ必要です。



1. **サーバー** : Eメールサーバ名または、IPアドレスを入力します。
2. **接続** : SMTP送信時、セキュリティが強化された特定メールサーバ(例 : Google など)を使う場合には「TLS」、「SSL」を選択して下さい。セキュリティが適用されてないメールサーバを利用する場合は「NORMAL」を使います。
3. **ポート設定** : SMTPサーバが通信するポートを入力します。初期設定 : 25
4. **認証** : Eメール・サーバに認証が必要な場合、<オン>に設定します。
5. **ユーザーID** : SMTPサーバのユーザーIDを入力します。
(大文字で表現されても小文字で認識されます。)
6. **パスワード** : SMTPサーバのパスワードを入力します。
7. **送信アドレス** : 送信先のメールアドレスを入力します。
8. **テスト転送** : 送信テストを行います。
9. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

6.5. DDNS (ダイナミック DNS)

変化するIPアドレスの履歴を管理し、簡単にウェブで接続できます。



1. 使用: DDNS オン/オフを選択します。オンにする場合、DDNSプロバイダーを選択します。

- 1) デフォルト: 初期設定が提供され <http://www.dvrhost.com>でのDDNSサービスが利用できます。

DDNSの<初期設定>を利用する場合には、設定する必要はありません。ホスト名はDVRから提供されます。メイン画面で[システム情報]を選択するとホスト名が分かります。



例) <http://GR6765BE10.dvrhost.com:7000>

- 2) DYNDNS: 独自のドメインネームサービスまたは“dyndns.com”を利用します。
2. 初期設定を利用しない場合は、次の設定が必要です。
 - 1) ドメイン名: DDNSウェブのドメイン・ネームを入力します。
 - 2) ユーザーID: ユーザーIDを入力します。
 - 3) パスワード: パスワードを入力します。
 - 4) アップデートテスト: 接続状態を確認するために[アップデート・テスト]ボタンをクリックします。

6.6 ルーター & ポートフォワーディング

大半のネットワークはルーターを通したインターネット接続を共有するシングルIPで構成されています。このIPアドレスはインターネット・サービス・プロバイダーによるグローバル固定IPアドレスまたはダイナミックIPアドレスです。

ルーターを通して、多数のパソコンやデバイスが同時にインターネットにアクセスすることができます。初期設定でのルーターでHypertext Transfer Protocol (HTTP, Port 80), File Transfer Protocol (FTP, Port 21), Telnet (Port 23), Post Office Protocol 3 (POP3, Port 110)が利用できます。

ルーターでネット上の訪問者を指定されたポートに誘導し、ファイヤーウォール問題を解決します。(ポート・フォワーディング) ルーターが特定ポートへの全てのインターネット要求をローカル・マシンに誘導します。ポート・フォワーディングで内部デバイスが保護される中、外部訪問者はDVRに接続することができます。

「DVR接続の例」

ネットワーク	ルーター	DVR IP 設定	PC接続ポジション			PC接続ポジション		備考
			① LAN			② WAN		
			A	B	C	B	C	
固定IP	使用	固定	○	△	×	★	★	
		DHCP	○	▲	×	☆	★	InfoのDVR IP確認と ルーターの設定
	×	固定	○	○	○	○	○	
		DHCP						不可 [ローカルDHCPサー バー必要]
DHCP	使用	固定	○	△	×	★	★	
		DHCP	○	△	×	★	★	InfoのDVR IP確認と ルーターの設定
	×	固定						不可
		DHCP				△	△	PPPOEは支援不可

1) ロケーションの説明

- A. LAN: ローカルIPから接続。ネットワーク内で接続する場合、システムのIPアドレスを入力します。(例 192.168.0.50)
- B. WAN: DDNSから接続。ネットワークの外部から接続する場合は、DDNSを利用します。(例 L123456.dvrhost.com)。
- C. WAN: IPアドレスで接続。ネットワークの外部から接続して固定IPアドレスを知っている場合、IPアドレスを利用します。(例 <http://124.137.23.72:6000>)

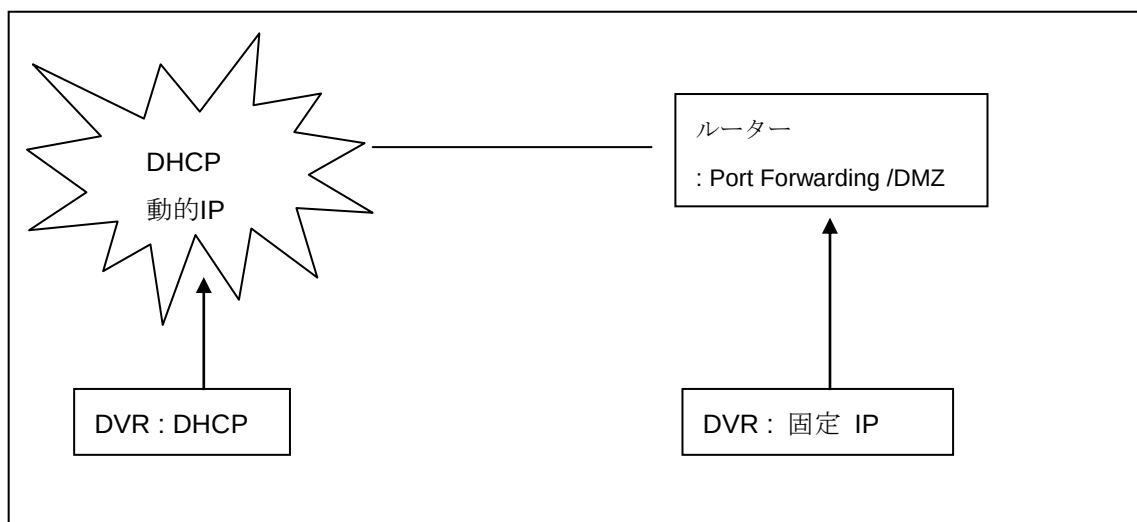
2) シンボルの説明

- : 接続
- x : 接続不可
- △ : ルーターまたは、ネットワーク接続に制限あり
- ★ : ポート・フォワーディング必要

3) カラーの説明

- 黄 - お勧め
- グレイ - 不可
- 白 - ルーターまたはネットワーク状態に依存

2. DHCPでのDVR接続



<ノート> 各ルーターのポート・フォワーディング設定は異なります。ルーター・マニュアルを参照してください。

7. デバイス

7.1. 一般

このメニューでは、外部機器の接続に関する設定ができます。



1. メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
 - 1) **音声設定**：録音装置の使用可否をON/OFFで設定します。
ビデオデータとは違い、音声データは終始リアルタイムで録音されますので、音声と画面には少しディレイが生じる場合があります。
 - 2) **キーボードモデル**：コントローラとボー・レートを選択します。
 - 3) **PTZイベント**：PTZイベント持続時間を設定します。
 - 4) **アラーム出力**：アラーム持続時間を設定します。
2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

7.2. 画面



1. 解像度：モニター出力解像度を選択します。

[800*600 → 1024*768 → 1280*720 → 1280*1024 → 1920*1080i → 1920*1080P]

<ノート>

- i. 出力はHDMIとVGA両方へ適用されます。VGAモニターが高解像度を支援しないと、映像が見えませんが、ご注意ください。
 - ii. HDMIとVGA出力を同時に確認される場合には解像度を低くしてください。
- * HDMI自動検知項目をチェックすると、最適 HDMI解像度を自動検知します。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

7.3. アラーム

アラーム入出力及びアラームブザーに関する設定ができます。



1. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューのアラームを選択します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
 2. 入力: アラーム入力の入力方式を切り替えます。
 3. 出力: アラーム出力の出力方式を切り替えます。
 - 1) 使用: 出力タイプを選択します。
 - 2) 無効: アラーム使用後、アラーム出力を通常の状態に戻す方法を設定します。
 - a. イベント: イベント設定期間が満了するとリレー出力はターン・オフされます。
 - b. 手動設定: リレー出力を“制御”でターン・オフします。
 - 3) 制御 
- [決定]ボタンを押し、複数のイベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。フロントパネルまたはリモコンの方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。



- リモコンの[- / +]ボタンまたは、マウスでオプションを選択します。
- 説明: システムでチェックするアイコンの説明が表示されます。

- HDD ディスク障害
- 録画システム障害

- 温度警告（選択できません）
- ファン・ロック・警告（選択できません）
- 電圧警告（選択できません）
- リモコンのバッテリー交換警告
- 外部デバイス・イベント
- ネットワーク・リンク非接続
- 管理者ログイン
- 電源リカバリー
- ディスク・フル
- シーケンスのパスワードが無効です。
- 補助イベント

4. ブザー

1) 使用

a. オン: アラームがトリガーされるとブザーが鳴ります。ブザーは録画時間中、鳴り続きます。このブザーはアラーム出力と関係します。アラーム・ブザー機能はアラーム出力を“ON”にすると活性化されます。

b. オフ: アラーム・ブザー機能をオフにします。

2) 無効: ブザーをターン・オフします。

a. イベント: イベントが終了するとブザーはターン・オフされます。

b. 手動設定: ブザーを“制御”でターン・オフします。

5. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

7.4. PTZ イベント

アラーム、モーション、ビデオロスなどのイベントが発生するとDVRはプリセット命令をPTZカメラに出します。PTZオプションを確認してプロトコルをカメラ・チャンネルと合わせます。



1. チャンネル: 希望するPTZカメラを選択します。

2. 有効: PTZアクション[なし →位置 → ツアー]

イベント検出時の番号またはツアー・グループをプリセットします。

3. 無効: イベント期間終了後のカメラ・ポジションを選択します。

4. イベント編集



[ENTER]ボタンを押し、マルチプル・イベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。リモコンまたはフロントパネルの方向 [▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。



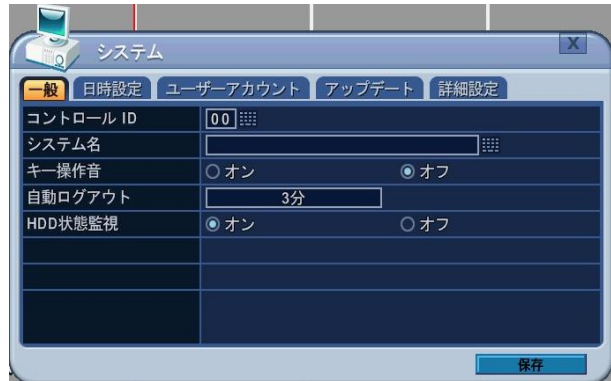
<ノート>PTZイベントでPTZカメラのモーション検出を設定しないでください。
信号伝送に問題が発生します。

5. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

8. システム

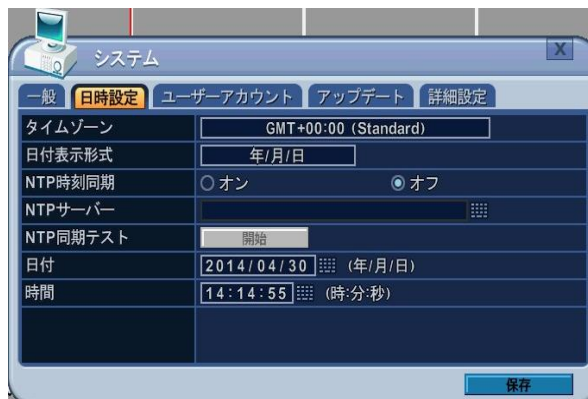
8.1. 一般



1. **コントロール ID:** 各DVRをコントロールIDで指定すると、リモコンで操作することができます。(付属のリモコンでは現在支援しません。)
2. **システム名:** ネットワークに多数のDVRがある場合、DVR名で区別します。
3. **キー操作音:** キー音のオン/オフを選択します。DVRキー音は“オン”に初期設定されています。
4. **自動ログアウト:** DVRの自動ログアウトが設定できます。初期設定は“3分”です。
[オフ → 1分 → 3 分 → 5 分 → 10分 → 30分 → 60分 → 120分]
5. **HDD状態監視:** HDDの自己診断情報(S.M.A.R.T)を取得するかどうかを選択します。

8.2. 日時設定

録画開始前に日時設定を確認してください。



1. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューの日時設定へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。[- +]、マウスで値を変えます。

- 1) **タイムゾーン**：<付録 1: タイム・ゾーン・チャート>を参照してください。
DVRが位置されている時間帯を選択します。タイム・ゾーンにはサマータイムが初期設定されています。サマータイムが終了すると、標準時間に戻ります。(1時間)
- 2) **日付表示形式**：日付の表示形式を選択します。
[月/日/年 → 日/月/年 → 年/月/日]
- 3) **NTP時刻同期**：DVRの時間はNTP(ネットワーク・タイム・サーバー)を通し、外部時間ソースに同一化できます。NTPオプションをオンにすると、日時オプションが非活性化されます。
- 4) **NTPサーバー**：公共または個人NTPサーバを利用します。サーバやドメインの IP アドレスを入力します。初期設定は公共サーバ“pool.ntp.org”です。
<ノート> 時間差：最低 64秒～最大 1,024秒
- 5) **NTP同期テスト**：NTPサーバとの通信テストを実行します。
- 6) **日付 & 時刻**：現在の日付と時刻を入力します。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

8.3. ユーザーアカウント

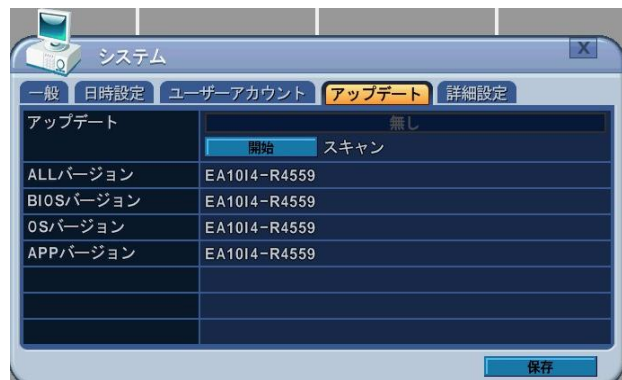


1. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューの“ユーザー設定”へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。[+ -]、マウスで値を切り替えます。

- 1) **ユーザー/名称:** DVRは管理者で初期設定されています。ユーザー1~10を選択し、オンを押します。
 - a. ユーザー名: 10半角まで。
 - b. 使用文字: アルファベットA ~ Z、数字 0 ~ 9
- 2) **権限:** 管理者の場合、各ユーザーの権限が設定できます。[再生, PTZコントロール、バックアップ、設定(ディスクとシステム以外)、録画停止、システム終了]
- 3) **遠隔用パスワード:** 初期設定で管理者はネットワークのパスワードがありますが、ユーザーはネットワーク接近が不可になっています。
[カスタム・パスワード]で新しいパスワードを設定することができます。
 - a. パスワード: 14半角まで
 - b. 使用文字: アルファベットA ~ Z、数字 0 ~ 9
- 4) **使用チャンネル**
選択されたユーザーに、視聴を許可するチャンネルが設定できます。
- 5) **システムパスワード**
新しいパスワード6数字を入力して、確認欄に再入力します。入力することに*マークが表示されます。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[MENU]や[CANCEL]ボタンを押します。

8.4. アップデート



1. 最新のファームウェア・ファイルをダウンロードしてUSBメモリにコピーします。

<注意>: ファイルが全部ダウンロードされているかご確認ください。

2. 前面パネルに **USB** を差し込みます。(録画中には録画を停止してください。)
3. 方向ボタンで移動し、[開始]ボタンを押します。次に[+]ボタンを押し、アップデート・ファイルを検索します。**DVR** が有効のアップグレード・ファイルを検知すると、アップデート・メニューが活性化されます。
4. [ENTER]ボタンでアップグレードファイルを指定します。
バージョン情報が表示されますので複数のアップグレード・ファイルがある場合には画面のバージョン情報をご参照ください。
5. 方向ボタンで[開始]ボタンに移動し、[+]ボタンを押します。
アップデートが始まると “作業進行中”とのメッセージが表示されます。
6. アップデートが終わると、“成功” というメッセージが表示されます。[+]ボタンを押すと再起動します。

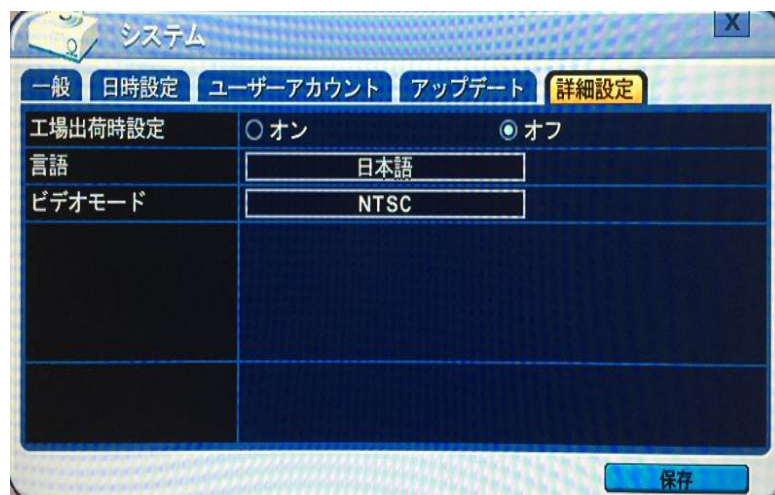
ノート1: アップデート中に電源を切ったり、ボタンを押さないでください。

ノート2: DVR アップデート前に販売先にご相談ください

8.5. 詳細設定

詳細設定では工場出荷時設定(初期値)への設定が可能です。また、言語を日本語以外に変更したり、映像モードをNTSC及びPALに変更できます。

- 1) 工場出荷設定：工場出荷時の状態に戻すには「オン」を選択し、「保存」ボタンを押します。
- 2) 言語：OSD表示言語を「日本語」以外の外国語に変更する事ができます。
- 3) ビデオモード：接続するカメラの種類によってNTSCかPALに選定できます。



8.6. 情報

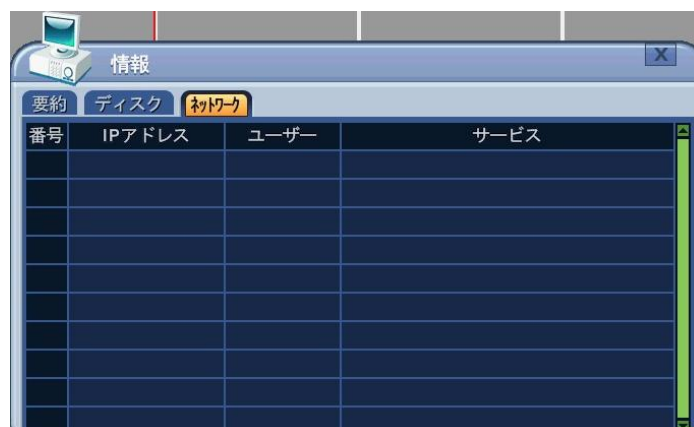
情報：モデル情報やMacアドレス、HDD状態などが表示されます。



ディスク：内蔵されているHDDの容量とUSBメモリーに関する情報を示します。



ネットワーク：IPアドレス、ユーザー、ネットワークユーザーのサービスについて示します。



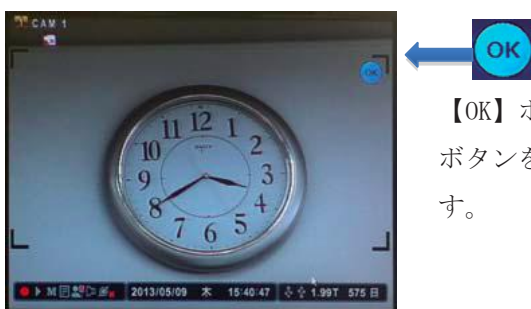
VII. パン/チルト/ズーム制御

PTZ制御はPTZドーム・カメラが接続された時に利用できます。PTZオプションは各カメラ・チャンネル毎、設定します。(カメラ・メニューの**PTZ制御** 参照)

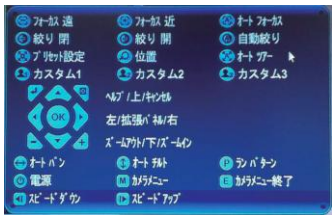
カメラ制御インターフェースの表示位置は、DVR前面またはリモコンのボタン位置と合っています。カメラ制御インターフェース・モードの時は全てのボタンがカメラ制御関係の操作のために使用されます。

1. P.T.Z. メニュー

- 1) P/T/Z制御を有効にするには、制御したいカメラの1画面表示を選択します。
- 2) 次に**[P/T/Z/FOCUSカメラ制御]** ボタンを押します。下図のようにショートカット・メニュー・ボックスが表示されます。



【OK】 ボタンをマウスで押すかリモコンのメニューボタンを押すと操作用コントローラーが表示されます。

ボタン	機能
 [決定] [キャンセル] ※付属のリモコン	• [MENU] ボタンを押すと“HELP”メニューが表示されます。次に[MENU]や[CANCEL] ボタンを押すとヘルプ・メニューから抜けます。  • [CANCEL] ボタンを押すとカメラ制御の操作を中止します。
 [OK] ボタン	• P/T/Zカメラ制御インターフェースの、全機能を使用可能にする拡張メニューに切り替えます。もう一度このボタンを押すと、元の簡単なメニューに戻ります。

	
	• チルト＝上下移動の制御 • パン＝左右移動の制御
	• ズームイン・ズームアウトの制御

2. プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置設定：リモコンの スポット アウト カメラを希望の場所に動かします。 プリセット設定 ボタンを押します。 「カスタム1」が点灯します。 プリセット位置のために#をセットします。 決定 を押すと保存して抜けます。
	プリセット選択： リモコンの システム情報 ボタン Go ボタンを押します。 希望するプリセット#を入力し 決定 を押します。
	オート・ツアー開始：リモコンの バックアップ ボタン オート・ツアー ボタンを押します。 + ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、決定 を押します。 例えば、オート・ツアー ボタン+5 はPTZ カメラのプリセット1～5 のツアーを開始します。

2.1. ツアーグループ

ツアーグループのプリセットでプログラムされたPTZプリセットの自動切替ができます。

PTZ設定(CH 1)

コントロールID	01	①
モデル	Pelco, D	
ボーレート	9600 BPS	
ツアー	グループ1	②
グループリスト	1) プリセット 1, 3 秒	
プリセット番号	001 開始 ~ 001 停止	③
画面切替時間	03 秒	
変更	追加 修正 除去	

保存

1) 通信設定

モデルを選択し、ボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。適切なジャンパー設定のためにPTZカメラのメーカーのマニュアルを参照し、DVRとのプロトコルを合わせてください。

2) ツアー: 四つのツアーがプログラムできます。[ENTER]ボタンで値を選択します。

[グループ 1 → グループ 2 → グループ 3 → グループ 4]

3) 各ツアーグループの下位メニューです。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。

- グループリスト: 最大10個のプリセット位置が設定できます。
- プリセット番号: 最初と最後のプリセット番号を入力します。
- 画面切替時間: プリセットの切替待機時間を選択します。
- 変更: ツアー・リストを追加、修正、削除します。
- ツアーリストの追加をするには**b** から **d** の段階を繰り返します。

3. カスタム機能

ボタン	機能
	PTZ カスタム機能 1; リモコンの画面分割ボタン
	PTZ カスタム機能 2; リモコンのズームボタン
	PTZ カスタム機能 3; リモコンのカメラ制御ボタン

4. 自動パン / 自動チルト / 電源

ボタン	機能
	自動パン; リモコンの停止ボタン
	自動チルト; リモコンの早戻し(巻き戻し)
	電源 On / Off; リモコンの早送り

5 . PTZ カメラ・モデル - パン/チルト/ズーム カメラ・リスト

#	モデル名	3X	速度	プリセット	Go to	ツアー	パン	チルト	Pat	Me	Esc/ Enter
1	PELCO, D	0	0	0	0	0	0		0	0	
2	RVT, EZ Protocol	0	0	0	0	0			0	0	0
3	PELCO, P	0	0	0	0	0	0		0	0	
4	Hitron, Fastrax 2	0	0	0	0	0			0	0	0
5	Bosch, Auto Dome										
6	MERIT LINLIN										
7	APPROMEDIA										
8	LG,MULTIXE CAM/DOME										
9	BBV,PROTOCOL V2										

<ノート> 速度：0~8 ステップ



1 (低速) → 8 (高速)

VIII. 再生/検索

このDVRは、二つの再生モード(再生、検索)ができます。記録されたデータベースがら便利に希望する映像を検索して再生することができます。検索機能モードには日時検索、イベント検索、ログ検索があります。

1. 再生

ライブ監視や録画中に[再生]ボタンを押すと、最新のデータから再生を始めます。録画された映像を全部再生して停止します。

再生中に逆戻り、一時停止、1X~16X 再生、コマ送り/戻しなどが再生されます。

2. 時間検索

2.1 複数チャンネル再生

1.  **[時間検索]**ボタンを押すと、時間検索テーブルが表示されます。
データは色で表示されます。: イベント(赤) > ノーマル (黄)



2. **[+]**ボタンを使い、日→時→分(5分) →分 (1分)順で検索します。**[-]**ボタンを利用すると、逆順序で検索できます。
マウスではホイールを使い、**[+/-]**操作ができます。
<ノート> **[再生]**ボタンを押すと、データーの最後に移動します。
[早戻し] や **[早送り]**ボタンを押すと次のページに移動します。
3. 全てのチャンネルをレビューするにはスロットで**[ENTER]**ボタンを押します。
(マウス: ダブル・クリック)
4. DVRは16チャンネル・モードで再生します。画面表示モードを変えるにはチャンネル番号やディスプレイ(画面分割)ボタンを押します。

2.2 プレビュー検索(1チャンネル再生)

日付、時、分単位で簡単にプレビュー検索します。

1.  **[時間検索]**ボタンを押すと、時間検索テーブルが表示されます。



2. 方向ボタンで希望するチャンネルを選択します。



3. **[+]**ボタンを使い、日→時→分(5分) →分(1分)順で検索します。**[-]**ボタンを利用すると、逆順序で検索できます。マウスではホイールを使い、**[+/-]** 操作できます。
4. スナップショットをレビューする間、数字ボタンで他チャンネルをレビューします。
5. 方向ボタンでスナップショットに移動し、**[ENTER]**ボタンを押します。
6. 選択されたスナップショットから再生します。チャンネル番号やディスプレイ(画面分割)ボタンを押すと、画面表示モードが切り替わります。

2.3 イベント録画検索

時間検索テーブルに録画されたイベント録画データを検索します。



1. 方向ボタンで移動し、イベント種類を選択します。
2. [ENTER]ボタンを押して設定メニューに入ります。[+/-]ボタンで“イベント録画”を選択します。(初期設定されています。)



2.4 イベントソース検索

イベントソース検索機能を使用すると、アラーム、モーション、ビデオロスのイベントへの記録データを検索することができます。

1. 検索モードで[+/-]ボタンを使い、“イベントソース”を選択します。
イベントソースのアラーム、モーション、ビデオロスより検索したい項目を選択します。



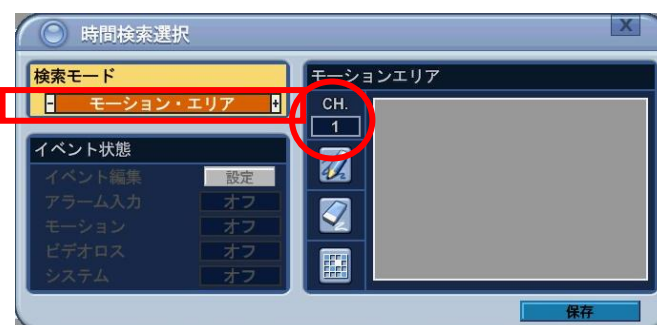
- 1) アラーム入力：1～4のアラーム入力を選択します。
 - 2) モーション：1～16チャンネルより選択します。
 - 3) ビデオロス：1～16チャンネルより選択します。
 - 4) システム：非活性化されています。
2.  アイコンを押すことによりマルチプル・イベント編集が可能です。



2.5 モーション・エリア検索(1チャンネル再生)

指定したエリアで検知された録画データを検索します。

1. チャンネル内の特定領域のデータを検索するには”モーションエリア”を選択します。



2. 検索したいチャンネルを選択し、[+/-]ボタンを押します。
3. 検索するモーションエリアを選択します。



：全て選択



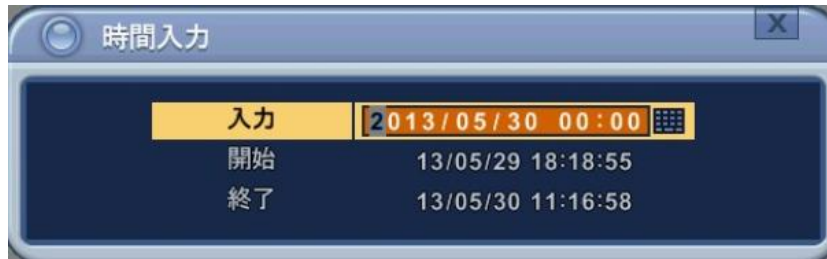
：全て削除



：特定範囲を選択

4. MENUボタンを押し、次にタイムサーチチャートは、そのチャンネルに何が起こったか赤色で記録データを表示します。

3. 簡単検索



時間入力

入力 2013/05/30 00:00

開始 13/05/29 18:18:55

終了 13/05/30 11:16:58

1. [時間検索]ボタンを2秒間押し続けます。[時間入力]メニューがポップアップされます。
2. 希望する日時を入力します。
3. [ENTER]ボタンまたは[MENU]ボタンを押し、検索を開始します。

4. ログリスト検索

ログリストから録画データを直接検索、レビューできます。アラーム、モーション、ビデオロス、システム関連ログなどを直接選択します。

1. イベント検索を開始するためにメイン画面の  を選択すると、
下のようにログリストが表示されます。



日付	時間	メッセージ	1ページ
2014/04/30	15:07:51	切断 (192.168.4.50)	
2014/04/30	15:07:20	スナップショット (192.168.4.50 ADMIN)	
2014/04/30	15:07:05	ユーザーログイン (admin)	
2014/04/30	15:06:58	ユーザーログアウト (admin)	
2014/04/30	15:06:48	切断 (192.168.4.50)	
2014/04/30	15:06:17	スナップショット (192.168.4.50 ADMIN)	
2014/04/30	15:04:41	切断 (192.168.4.50)	
2014/04/30	15:04:11	スナップショット (192.168.4.50 ADMIN)	
2014/04/30	15:03:01	切断 (192.168.4.50)	
2014/04/30	15:02:30	スナップショット (192.168.4.50 ADMIN)	
2014/04/30	15:02:07	切断 (192.168.4.50)	
2014/04/30	15:01:36	スナップショット (192.168.4.50 ADMIN)	

メニュー・タブ	リスト
オール	● 電源が入った時からの全てのイベントログリスト
システム	● 全てのシステム関連ログリスト
ネットワーク	● ネットワーク関連ログリスト
イベント	● アラーム、モーション、ビデオロス、システム以外のイベントログリスト
ビデオロス	● ビデオロスのリスト

2. 上下[▼▲]ボタンで再生する項目を選択します。左右[◀▶]ボタンで次のページに移動します。
3. [ENTER]ボタンを押し、再生します。

<ノート> ログリストはHDDに保存されています。

IX. バックアップ

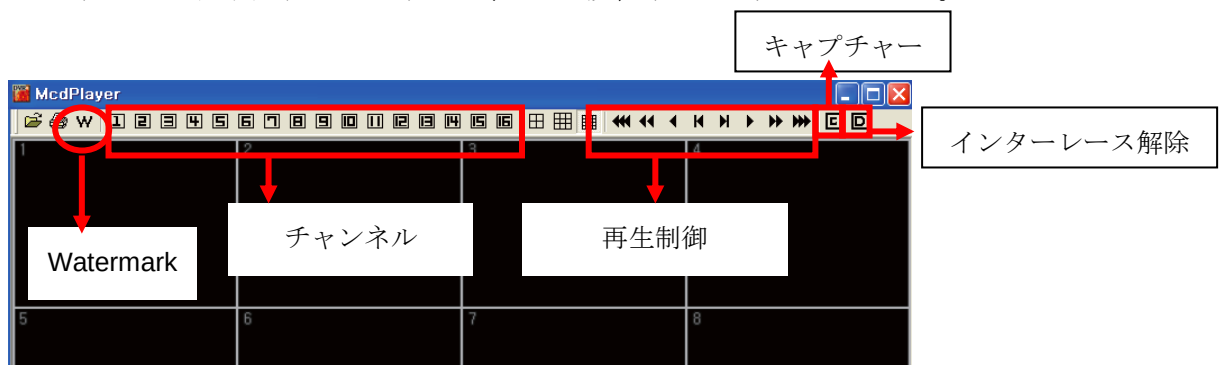
1. 手動バックアップ

1.1 外付け DVD- R/W

1. 外付けUSB-HDD及びCD/DVD-RWはDVRのUSBポートへのUSB接続ケーブルを接続した後、10秒以内に認識されます。
- 1) フロントパネルのUSB接続ポートにUSBコネクタを差し込みます。
- 2) 表示されるバックアップメニューで「バックアップ」を押します。



- 3) [-, +]ボタンを使い、デバイスを選択します。: USB CD/DVD-RW
 - 4) [-, +]ボタンを使いチャンネルを選択します。
 - 5) バックアップするデータを選びます。
 - (1) 全データ: ノーマル録画データ
 - (2) イベントのみ: イベント録画データ
 - 6) ファイルは“.s”フォーマットでダウンロードされます。
データのみ/データ+ビューアー/AVIファイルの中で一つを選択してください。
 - 7) バックアップ期間: バックアップする範囲(開始、終了時刻)を決めます。
 - 8) 24時間形式の中から要求される期間を入力後、**START** ボタンを押します。.
 - 9) **[+]**ボタンを押し、バックアップを開始します。
2. バックアップ進行状況はウィンドウの下部にパーセンテージで表示されます。
画面表示はキャンセルボタンを押すと消えます。バックアップ・ボタンを押すと、また表示されます。バックアップ中には再生しないでください。
3. 十分なスペースがメディアに存在しない場合やデータが満杯になった場合、DVRは自動的にディスクを排出し、新しいメディアがドライブに挿入されるとプロセスを再開します。
再生ソフトウェアは自動実行されますので、PCに設置する必要はありません。



1.2 外部USB HDD / メモリスティック

外部ドライブの駆動手順はバックアップ用の内部 CD/DVD-RWを使用した場合と同一です。



1.3 バックアップ範囲の設定

時間検索ボタンで表示されるカレンダーで[◀]ボタン:バックアップ開始時刻、
[▶]ボタン: 終了時刻を選択します。選択されたバックアップ範囲は紫色に変わります。



バックアップボタンを押すと選択されたバックアップ時間帯がバックアップ範囲に表示されます。

2. 自動バックアップ(FTP)

1. デバイス : [- +]ボタンでFTPを選択します。



2. 方向ボタンを使い、FTP設定ボタンへ移動します。



項目	リスト
サーバー	FTPサーバを選択し、数字ボタンでFTPサーバーを指定します。
ポート設定	FTPサーバが通信するポートを設定します。
ユーザー ID	FTPサーバのユーザーIDを入力します。 (大文字で表現されますが、小文字で認識されます。)
パスワード	パスワードを入力します。 (全て小文字で認識されます。大文字はサポートしていません。)
接続	接続モードを選択します。
バックアップ 先フォルダ	経路はバックアップ前、FTPサーバに指定してください。多数のDVRが一つのFTPサーバを利用するときのために、Macアドレスが初期設定されています。

3. ログリストのバックアップ

1. USBメモリーをUSBポートへ差し込みます。
2. メイン画面で  アイコンを選択し、リストを確認します。



3. ログリストで“バックアップ”ボタンを押すと、USBメモリーへデータが保存されます。
 - 1) デバイス：[決定] ボタンでデバイスを選択します。
 - 2) 種類：バックアップするデータの種類を決めます。
 - 3) 期間：バックアップするデータの範囲を指定します。
 - 4) 動作：[+] ボタンを押し、バックアップを開始します。



X.仕様

形式	NSD3004AHD	NSD3008AHD	NSD3016AHD
システム			
映像システム	NTSC		
映像入力	4チャンネル(BNC)	8チャンネル(BNC)	16チャンネル(BNC)
映像出力	HDMI、VGA		
音声入出力	入力 x4、出力 x 1		
アラーム入出力	入力 x4、出力 x 1		
シリアルポート	RS422		
USB ポート	2 (前面 / 背面)		
録画			
映像圧縮方式	H.264		
録画速度	60fps 1920×1080	120fps 1920×1080	240fps 1920×1080
	120fps 1280×720	240fps 1280×720	480fps 1280×720
	120fps 960×480	240fps 960×480	480fps 960×480
	120fps 720×480	240fps 720×480	480fps 720×480
	120fps 720×240	240fps 720×240	480fps 720×240
	120fps 360×240	240fps 360×240	480fps 360×240
録画モード	連続、スケジュール、イベント(モーション、アラーム)		
録画画質	超高画質、高画質、中画質、低画質 (4 レベル)		
プリアラーム	最大 5 秒		
ポストアラーム	最大 300 秒		
モーション検知エリア	8 x 8		
再生			
検索モード	カレンダー、時間検索、イベント、サムネイル、インタンス再生		
再生速度	1 ～ 16 倍 FF/REW、STEP		
保存/バックアップ			
内蔵 HDD	SATA HDD x 1 個		
外部ストレージ	e-SATA x 1 / USB x 1		
バックアップ	USB-DVD±RW / USB flash drive / ネットワーク		
OSD			
表示パターン	1、4	1、4、6、7、8、9	1、4、6、7、8、9、10、13、16
デジタルズーム	2/4/8 倍		
ネットワーク			

ネットワーク配信	H.264 / JPEG		
ネットワークユーザー数	管理者 x 1 + ユーザー x 10		
ネットワーククライアント	専用ソフトウェア(EMS2)、PC 用クライアントソフトウェア(Windows、Mac、Linux)、ブラウザ(Windows IE)、Mobile Phone(アプリ支援)		
リモート通知	メールお知らせ、PUSH サービス (Smart Phone)		
ネットワークプロトコル	TCP/IP、SMTP、DHCP、DDNS、UPnP		
その他			
操作	赤外線リモコン、マウス、遠隔監視ソフトウェア		
電源復旧	自動復旧		
ログ	イベントログ / システムログ		
Watchdog	電源自動復旧		
外形寸法	300(幅) X 50(高) X 227(奥) (mm)		
重量	1,930g (HDD 除く)	1,950g (HDD 除く)	2,040g (HDD 除く)
電源	12V 5A		
動作可能周囲温度	30 ～ 80% RH, 5℃ ～ 40℃ (41℉ ～ 104℉)		